

団体名:梅が丘三世代を繋ぐ会
活動名:うめがおかSUNプロジェクト

日時:令和3年 7月11日(日) 13時30分 ~ 16時30分
場所:梅が丘記念館(天白区)

◆◇団体の紹介◇◆

天白区梅が丘は、高齢者、子育て世代等、多世代が混在する地域で、世代ごとの関係性が希薄となっていた。そんな地域において、町内会や老人会等の組織とつながったり、様々な特技を持つ住民の力を借りてイベントを行うことにより、世代間の壁を取り払い、みんなの顔がみえるまちづくりを目指して活動している団体。

◆◇活動の様子◇◆

この日の活動は、8月に行われる今年の活動のメインとなる企画「竹あかりのイベント」に向けた「竹あかり」の製作です。

会場に入ると、三世代の方々がすでに竹あかり用の竹細工を作っている真っ最中で、世代を超えた人達の楽しそうな会話や、竹に穴をあける作業の「ガガー」という電動具の音が、耳に飛び込んできました。

そんな中参加者は、どんなデザインにしようかと、型紙を見ながら夢膨らまし考えています。ちょうどこの日は七夕も近く、七夕で飾る笹の木の葉の短冊に書く願い事を考えている子供たちや、笹に掛ける飾りを作るおばあちゃんやお母さんたち等、様々な世代のみなさんの大変和やかな雰囲気、視察に訪れた私たちも思わず、顔がほころびました。

密を避けるため、時間で子供たちを分けて、小学生の部・中学生男子の部・中学生女子とするなど、しっかりと対策も心掛けながらも地域の皆が楽しめるように工夫して活動されていました。



今回の視察で一番感じたことは、三世代で楽しくイベントを通して交流していくという、この活動の原点。顔の見えるまちづくりは、このような活動の積み重ねから実現されるのだろうと、実感しました。高齢者から子供まで世代を超えて、人と人をつなぐ梅が丘サンプロジェクトの活動は、だれもが参加したくなるような、前向きな雰囲気がありました。

今年で最後の助成活動となる団体ですが、年々着実に地域にその思いが浸透してきていると感じます。来年以降も活動を継続し、地域の人を巻き込んで、三世代の笑顔をつなぐ団体であり続けることに期待します。

